



赤羽国土交通大臣が安威川ダムを視察



2020年11月9日に赤羽一嘉国土交通大臣が建設中の安威川ダム現場を視察。中野つよしは、佐藤茂樹衆議院議員、石川博崇参議院議員、公明党茨木市議団と同行し、所長より工事の進捗を確認し、治水効果など意見交換を行いました。

11月14日にはダムの定礎式を終え、本格的な堤体の盛り立て工事にかかり、2022年の完成を目指します。

ダム湖を活用した橋梁やアクティビティ施設を建設する茨木市とも、今後協力して市民から愛される安威川ダムとなるよう引き続き関係者とともに尽力してまいります。

医療体制強化、重症病床確保など活発に質問



《中野つよしの主な質問項目》

- ◆医療体制の強化
(患者情報把握、保健所体制強化、重症病床確保など)
- ◆大阪コロナ重症センターの2期について
- ◆診療・検査医療機関の公表について
- ◆新型コロナ差別解消条例の制定を
- ◆薬局・保育施設などへの慰労金を要望
- ◆介護福祉人材の確保へ府独自の支援策を
- ◆障害者差別解消条例の改正について

ひっ迫する医療体制の中、中野つよしは12月9日に健康福祉常任委員会の委員として質問に立ちました。

府コロナ重症センターが開設し新たに30床が開設。看護師不足という事態で保留となった2期工事の経緯について質問。東京・埼玉など他県の事例などを参考に病床確保に努めるように要望しました。

さらに「かかりつけ医」からPCR検査が受けられるという「診療・検査医療機関」では、医療機関の公表が少ないため「たらい回し」が起こらないか懸念を訴える。1,000件以上の医療機関公表が進む埼玉県独自のインセンティブ制度を紹介。今後も要望していきたい。

その他に介護福祉人材を幅広く確保することを質問。府では他業種から介護職へ就職した人材が、働きながら資格取得できるように、そういった人材を雇用する法人に支援を行う新たな制度創設を検討していくと答弁。また、障害者差別解消条例の改正にともない、積極的な情報発信と啓発について、先駆けて条例改正した茨木市の事例を参考にしてほしいと要望しました。

YouTubeチャンネルを開設!



◆コロナ禍で様々なことをご相談をお受け致しております。ささいなことでも構いませんので抱え込まずにお気軽に中野つよしまで相談いただきたいと思います。◆2021年が素晴らしい飛躍の年となりますように頑張ってください。◆皆様、お身体にご留意のうえ、お元気にお過ごしいただきたいと思ひます。